

Point 1

作業3で作成した「t3」フォルダ内のフォルダとファイルを「t4」フォルダにコピーします。

次に、「index.html」ファイルを開いて、「sample2.txt」ファイルの内容を③の「コンテンツエリア」の位置に入力します。

入力したテキストは、次のように構造化します。

```
<h1>ウェブデザイン技能検定情報</h1>
<h2>ウェブデザインとは</h2>
<p>「ウェブデザイン」とはパソコンや携帯端末に様々な情報をインターネット上に掲載・配信することを目的に、ウェブサイトのデザイン(設計)を行う職種です。</p>
<h2>技能検定とは</h2>
<ul>
<li>職業能力開発促進法に基づき昭和34年度より実施されている国家検定制度</li>
<li>技能検定に合格すると「技能士」と称することができる</li>
<li>技能検定は学科および実技試験等によって検定される</li>
</ul>
<h2>技能検定職種について</h2>
<ol>
<li>中央職業能力開発協会(都道府県職業能力開発協会)が実施するもの</li>
<li>指定試験機関によって実施されるもの</li>
</ol>
<ul>
<li>ファイナンシャル・プランニング</li>
<li>金融窓口サービス</li>
<li>情報配線施工</li>
<li>知的財産管理</li>
<li>ウェブデザイン</li>
</ul>
</li>
</ol>
```

修正できたら、ファイルを上書き保存し、ウェブブラウザで「index.html」ファイルの表示を確認しておきましょう。

Point 2

「t4」フォルダから、不要な「sample2.txt」ファイルを削除します。

以上で、作業4で必要な作業はすべて終了です。

正しく修正されていれば、大見出し、中見出し、本文、番号付きリスト、箇条書きリストなどが確認できます。同じ表示になっていない場合は、修正した箇所に間違いがないかどうかを確認してください。